

産業振興計画の主な取組状況について

目標 1 多様な産業と住宅都市が共に発展するまち

③産業団体等と区の連携による区内産業の魅力発信

計 画	取組状況
区内事業者による優れた技術や他にはない製品、特徴のある事業者を紹介する PR 活動の充実や製品を手にする機会の創出など、区内産業の魅力を区内外に発信していきます。また、技術開発や経営基盤の強化などに優れた実績を上げ、地域産業の発展に貢献している区内事業者を表彰する制度の創設なども検討していきます。	<p>○ CATV 杉並紹介番組（ジモトピ杉並）に、区内企業紹介コーナーを設置</p> <p>25 年 2 月 根本特殊化学(株)</p> <p>25 年 4 月 (有)松蔵</p> <p>25 年 6 月 (株)保坂彫刻工業所</p> <p>26 年 2 月放映</p> <p>日都産業(株)</p> <p>(有)佐山椅子製作所</p> <p>26 年 5 月 (株)栄設計(予定)</p> <p>26 年度も紹介していく。</p> <p>○ 産業協会への委託により、区内工業 PR 誌として、11 社の紹介をメインとした冊子「すぎなみの産業」を 26 年 3 月に発行</p>

④産業団体等と区の連携による交流の場の拡大

計 画	取組状況
業種の異なる様々な事業者が互いの経営資源を結びつけ、新たなビジネスチャンスにつなげることができるよう、異業種交流会を産業団体と区が連携して開催していきます。また、国や都、関連団体などが開催する交流会、展示会、ビジネスマッチングフェアなどに、より多くの区内事業者が参加・出展できるよう、産業団体と区が連携して支援していきます。	<p>○ 異業種交流会の開催</p> <p>「杉並ビジネス交流会」を 25 年度中に 3 回開催(東商杉並支部主催、杉並区共催)</p> <p>第 1 回：6 月 27 日(25 社参加)</p> <p>第 2 回：9 月 26 日(25 社参加)</p> <p>第 3 回：3 月 6 日(若手経営者対象、16 社参加)</p> <p>○ 異業種交流会 i n すぎなみ(杉並区主催、東商杉並支部共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年 2 月 25 日開催。55 事業者 66 名参加 26 年度は四半期に 1 度開催。 6 月 30 日、9 月 9 日、11 月 25 日、2 月中旬 <p>○ ビジネスフェアへの参加</p> <p>産業振興センターとして出展し区内事業者の PR を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2013 よい仕事おこしフェア」(主催：城南信用金庫)8 月 6 日～7 日(区内事業者出展者数：2 社) <p>フェア全体来場者数 37,815 人(産業振興</p>

	<p>センターブース来場者数 464 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産業交流展 2013」(主催：東京都)10月 30 日～11 月 1 日 (区内事業者出展者数：1 社) 展示会全体来場者数 46,095 人(産業振興センターブース来場者数 268 人) ・「ビジネスフェア FromTAMA」(主催：西武信用金庫)11 月 7 日(区内事業者出展者数：9 社) フェア全体来場者数 5,211 人(産業振興センターブース(東商杉並支部、荻窪法人会、杉並青色申告会と共同)来場者数 102 人) <p>26 年度も同じフェアに出展する。</p>
--	--

⑤ (仮称) すぎなみまつりでの区内事業者との連携

計 画	取組状況
<p>人が集まることによって元気が生まれ、情報の発信にもつながります。区内には、他と比較して引けを取らない技術・商品を有している個性的な事業者が多く存在しています。これらを区内だけでなく、区外の事業者や住民に売り出すことができる場を提供し、区内産業の良さを多くの人に知ってもらい、ビジネスマッチングやジョブマッチングなどにつなげていくことが必要です。そのため、産業や交流などをコンセプトに、区内事業者等とともに、「(仮称)すぎなみまつり」に取り組んでいきます。</p>	<p>○「すぎなみフェスタ 2013」の開催と合わせ、産業商工会館指定管理者(産業商工会館運営協議会)による「すぎなみ産業フェア」、「パン祭り」、「スイーツフェア」の出展に協力</p> <p>すぎなみ産業フェア…製造業を中心に 13 事業者が出展。区内事業者の優れた魅力ある製品・技術に楽しみながら触れてもらった。(来場者数 2,405 人)</p> <p>すぎなみパン祭り・スイーツフェア…区内のパン販売店(22 店舗)、菓子店(11 店舗)が出店。各店舗の人気商品を多くの区民が目にする事ができた。</p> <p>26 年度も実施方法を再検討した上で開催する。</p>

⑦創業支援

計 画	取組状況
<p>創業までの手続きや資金計画の立て方を学ぶ創業支援セミナー、起業・創業した人たちの経験から学ぶワークショップなど、創業後の順調な発展につながる支援を充実させていきます。</p>	<p>○「女性起業セミナー」開催(東商杉並支部、商店会連合会、産業協会共催)</p> <p>地域で事業を成長させるための実践的なセミナーとして、ワークショップを中心とした参加者間の交流、区内起業家との交流を行った。(全 5 日間 10 月 5 日、26 日、11 月 23 日、12 月 7 日、1 月 25 日開催。参加者数 39 人)</p> <p>26 年度も実践的な内容のセミナーを開催する。</p>

目標2 区民生活を豊かにする産業に支えられ、安全で住みやすいまち

④地域特性を踏まえた商店街支援の促進

計 画	取組状況
商店街の立地環境やその地域が持つ歴史、自然環境、文化などの地域特性を活かし、将来のまちづくりにつながる商店街の取組を積極的に支援していきます。	<p>○ 3事業に対し「地域特性にあった商店街事業補助金」を交付</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高円寺多言語観光計画事業 2 商店街によるまちづくりの場整備事業 3 ドンと行こうぜ ホンダラ大作戦 <p>また、国が新設した「地域商店街活性化事業補助金」の活用を商店会等へ積極的に働きかけ、まちのブランド創出事業や、地域資源を活かした観光事業の実施につなげた。</p> <p>例) 永福町ブランドアップ大作戦 例) 西荻地域観光基盤整備事業</p>

⑤文化・芸術を取り入れた商店街の魅力づくりの推進

計 画	取組状況
文化・芸術団体や様々な分野のアーティストが活動を行うことで、集客力や回遊性を高め、個性的で魅力のある商店街づくりを推進していきます。	<p>○ 「地域特性にあった商店街事業補助金」や「チャレンジ商店街サポート事業補助金」等、様々な制度で文化・芸術を取り入れた商店街活動を支援できるため、的確な助言等により、制度の活用を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高円寺びっくり大道芸：「新元気を出せ補助金（イベント事業）」により補助 ・トロールの森（善福寺公園）、テラトテラ（高円寺～吉祥寺）等のアートイベントを「中央線あるあるプロジェクト」で取り上げるなど、PRを支援

⑥商店街からの提案事業への柔軟な支援

計 画	取組状況
まちづくりの視点を携えながらの地域ブランドづくりや商品開発など、地域経済の活性化や地域コミュニティの醸成等の相乗効果が期待できる、商店街が提案する様々な取組を柔軟に支援していきます。	<p>○ 「チャレンジ商店街支援プログラム」を構築し、「チャレンジ商店街サポート事業補助金」や「地域特性にあった商店街事業補助金」、「商店街若手支援事業補助金」の新設・拡充をはじめ、「新・元気を出せ商店街事業費補助金」の運用改善・周知強化等を図ることで、商店街からの提案をより柔軟に受け止める体制を整えた。また、国の補助金の周知と申請にあたっての支援を行うなど、商店街から提案を引き出す取組を行った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ商店街サポート事業補助金 申請 15 件 ⇒採択 5 事業 ・地域特性にあった商店街事業補助金 申請 3 件 ⇒採択 3 事業 ・商店街若手支援事業補助金 申請 1 件 ⇒採択 1 事業 ・新・元気を出せ商店街事業費補助金（イベント・HP・防犯カメラを除く）活性化事業 申請 4 件（商店街統一看板の設置等）
--	---

目標 3 食卓に彩りと心に潤いを与える産業で、やすらぎがあるまち

②（仮称）農地活用懇談会の設置・運営

計 画	取組状況
<p>農家の高齢化や後継者不足により、今後、耕作されない農地の増加や遊休農地の発生が見込まれます。一方、区民農園事業が高い人気を示しているとおおり、農業に興味・関心を持つ区民は多数存在しています。このような状況を踏まえ、耕作希望者へ農地を貸与できる仕組みや、教育活動、福祉施策での利用など、農地を積極的に活用する方策について、農業関係者とともに研究・検討し、推進していきます。</p>	<p>○平成 25 年 6 月に、都市農地をめぐる問題に精通している専門家や農業関係者を構成員（11 名）とする「農地活用懇談会」を設置。地産地消の推進、担い手育成支援など、農地保全につながる具体策を議論している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会開催数 7 回 ・専門検討委員会開催数 2 回

④地産地消マーケットの推進

計 画	取組状況
<p>各農家が個別に行っている直売所や J A が主催する即売会について、種類や量、開催頻度などを充実するよう、取組を進めていきます。また、区内産農産物が、商店街等の区民に身近な場所で気軽に購入でき、区内飲食店や学校・区施設などで広く利用されるよう、各農業者の生産力や生産時期等の計画、農産物の納入方法などの課題を踏まえ、区と農業者が協議を行いながら、地産地消の推進につながる流通システムの構築を検討していきます。</p>	<p>○平成 26 年 3 月に生産者や JA、協働事業提案者等、地産地消事業の推進に関する準備会を開催した。</p> <p>○平成 26 年度に（仮称）地産地消推進検討委員会を設置・運営し、都市農業を活性化させるために、PR 活動や販売機会の充実・拡充、地産地消流通システムの検討を進め具体化を図る。</p>

目標4 安心して地元で元気に働き続けられるまち

①相談者に寄り添った伴走型の支援

計 画	取組状況
<p>就労支援センターの「若者就労支援コーナー（愛称：すぎJOB）」では、就労について様々な不安や問題を抱えているなど、直ちに就職に結びつきにくい人に対し、相談者の状況に応じた支援プログラムを作成し、そのプログラムに基づいた就労支援準備相談、職業相談から就労後の定着支援まで、相談者に寄り添いながら伴走型の支援を行っていきます。</p>	<p>○ 平成24年12月に就労支援センター（平）が開設して1年4か月が経過</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労準備相談件数（26年3月現在） 実人数 559人 延 2,319件 就職・進路決定件数 186件 就労意欲を喚起するため就労支援セミナーや少人数のグループワーク、職場体験など交えたジョブスクールを週1～2回実施 <p>※ ハローワークの実績（26年3月現在）</p> <p>職業相談 8,987件 職業紹介 7,550件 就職決定件数 537件</p>

⑤社会参加・中間的就労の場の確保

計 画	取組状況
<p>様々な就労阻害要因を抱え、直ちに一般就労に結びつかない人に対し、一般就労につながるよう、NPO団体、福祉施設、企業と連携しながら、ボランティア活動などの社会参加の場や中間的就労の場を確保していきます。</p> <p>* 中間的就労：一般就労に直ちに繋がりにくい人が、準備段階として日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会のこと</p>	<p>○ 就労支援センタージョブトレーニング室の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年11月 社会適応力訓練・就労準備訓練プログラムの開始 平成26年3月現在、本登録者が9人、登録前利用者の29人が継続して利用 <p>○ 中間的就労の場の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年3月現在、17事業所から協力の内諾を得ており、7事業所と具体的な受入を協議中

目標5 魅力的でにぎわいがあり、また行ってみたくなるまち

②多様なメディアを活用した効果的な発信

計 画	取組状況
<p>区広報・ホームページにとどまらず、ガイドブックの配布、新聞社とのタイアップイベントの実施、即時かつ広範囲に情報伝達が期待できるSNSの導入、娯楽性が高く誘引力の大きいARの活用など、内容や用途に応じた効果的な発信を行っていきます。</p>	<p>○ 「中央線あるあるプロジェクト」による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッチコピー・ロゴの作成 専用HPの新設・運営 7月～ facebookの新設・運営 7月～ 「杉並あるあるマップ」の制作・配布 秋冬号3万部 春夏号4.4万部

	<p>(JR「小さな旅」規格で発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ARによるまち案内動画の配信 13本 ・東京新聞による情報発信 (朝刊 53万部 夕刊 20万部) キックオフ広告 朝1回 イベント等広告 朝1回 夕9回 まち歩き記事掲載 朝4回 タブロイド紙の作成・配布 10万部 東京新聞HPでのバナー掲載 ・JR 中央線中野駅～西荻窪駅に専用パンフレットスタンドの設置 6台 ・フラッグによるPR 高円寺フェス ・ARとアニメを活用したまち歩きイベント「アニ×ウォーク」の開催 <p>○「すぎなみ学倶楽部」による区内の魅力発信 年間約50万アクセス</p>
--	--

⑥アニメコンテンツを活用した事業の支援

計 画	取組状況
<p>アニメイベントの開催やキャラクターグッズの開発等、アニメコンテンツを活用した事業を支援することで、商店街の活性化やまちのにぎわいの創出を図っていきます。また、区公式アニメキャラクター「なみすけ」のさらなる知名度の向上を図り、民間事業者による「なみすけ」の商用利用を促進していきます。</p>	<p>○区内アニメ制作会社の協力を得て、アニメキャラクターを活用したまち歩きイベント「アニ×ウォーク」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻窪・西荻窪編 (2/15～3/28) ・高円寺・阿佐ヶ谷編 (次年度に繰越。5/17～6/30) <p>○「なみすけ」等の商用利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用マニュアルの改訂を行い、無償による商用利用承認を開始。